機械器具 32　医療用吸引器

一般医療機器　吸引器用ボトル　38476000

ポリープキャッチャーS

【禁忌・禁止】

使用方法

1.　本品はポリープキャッチャーS　ホルダーとポリープキャッチャーS　フィルター以外の組み合わせで使用しないこと
［体液、消化管内空気等の吸引不良につながる危険性があるため］

【形状・構造及び原理等】

本添付文書は、ポリープキャッチャーS（ポリープキャッチャーS ホルダー　品番:PCS-01-K、PCS-02-K 及びポリープキャッチャーS フィルター　品番:PCS-11-K、PCS-12-K）に適用します。

<本品の構成>

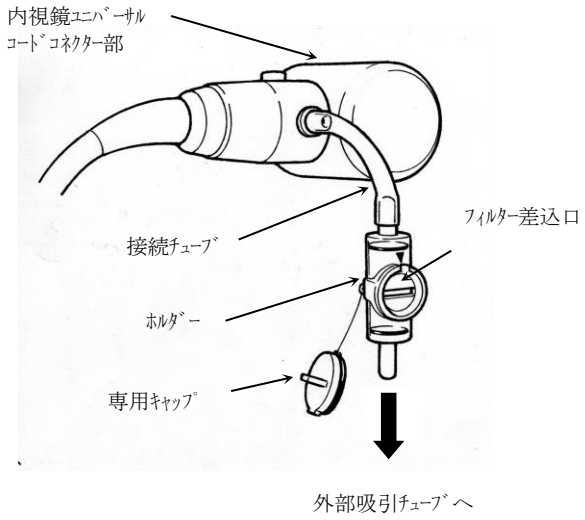


図１：ホルダー、接続チューブ

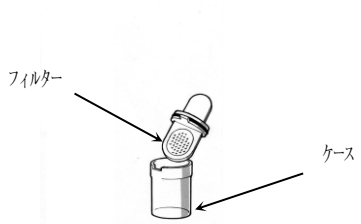


図２：フィルター、ケース

〈原理〉

1.　本品はホルダー、接続チューブ、フィルター、ケースにより構成されている。
2.　ホルダー部の接続チューブを内視鏡の吸引口金に差込み、反対側に外部吸引チューブを接続する。
3.　内視鏡吸引口より吸引したポリープを、ホルダーに装着したフィルターにより回収する。
4.　フィルターにより回収したポリープは、ホルマリン液を注入したケースに収め、フィルターにより蓋をする。

【使用目的又は効果】

本品は、プラスチック製で、ふたによって密閉でき、ポリープ等の回収のために吸引器とともに使用する器具である。
本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1．ポリープキャッチャーS 使用によるポリープ回収方法

1-1. ポリープキャッチャーS の取り付け方法

注意

○ 接続チューブと吸引口金、ポリープキャッチャーS と外部吸引チューブを確実に接続すること。
［内視鏡により体液等が十分に吸引できない恐れがあるため］
［回収したポリープが遺失する恐れがあるため］

1)　内視鏡の吸引口金にホルダーの接続チューブを差し込んでください。反対側に別途用意された外部吸引チューブを接続してください。
2)　ホルダーのフィルター差込み口に、専用のキャップがしっかりと嵌め込まれていることを確認してください。

1-2. ポリープ確認後、切除前準備

注意

○ フィルターはホルダー差込み口に確実に接続すること。
［内視鏡により体液等が十分に吸引できない恐れがあるため］
［回収したポリープが遺失する恐れがあるため］

3)　ホルダーの専用キャップを外し、フィルターの裏表を注意し、ホルダー並びにフィルターに刻印されている▲の目印を合わせ、ホルダーの切れ込みとフィルターの突起が勘合するようにフィルターをホルダーのフィルター差込み口に差し込んでください。（図３参照）

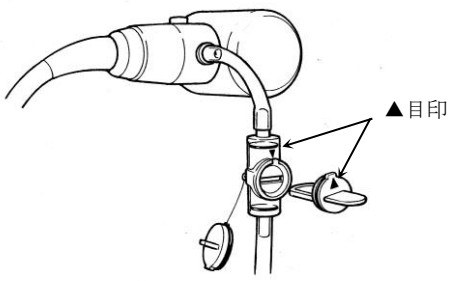


図３：フィルター差込み

1-3. ポリープ切除後、回収方法

○ ６mm以上のポリープは吸引しないこと。
［内視鏡の吸引口に詰まる恐れがあるため］

4) ポリープ切除後、ポリープを体液等といっしょに内視鏡により吸引してください。
5) 吸引されたポリープがフィルターにトラップされていることをホルダー外部から目視で確認してください。
6) もしポリープがフィルターにトラップされていなければ、内視鏡鉗子口より少量の生理食塩水をフラッシュし、再度吸引してください。

注意

○ フィルターをホルダーから勢いよく引き抜かないこと。
［回収したポリープが遺失する恐れがあるため］
○ ポリープ回収後フィルターはケースに確実に嵌め込むこと。
［フィルターが外れ、ホルマリン液、ポリープが漏れる恐れがあるため］

7) フィルターにポリープがトラップされていることを確認し、フィルターをホルダーからゆっくりと引き抜いてください。
8) ホルダーのフィルター差込み口に、専用キャップをしっかりと嵌め込んでください。
9) 引抜いたフィルターはポリープを落とさないように、ホルマリン液を満たし予め用意しておいたケースにゆっくりと差し込んでください。

【保管方法及び有効期間】

1. 保管方法
水濡れに注意し、直射日光・高温多湿を避け室温にて保管のこと。
2. 有効期間
本品貼付ラベル記載の使用期限参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売元〉
名　　称：株式会社カネカ
電話番号：06-6226-5256

〈販売元の氏名又は名称等〉
名　　称：株式会社カネカメディックス